

令和 6 年度

学 生 表 彰 式



日 時：令和 7 年 2 月 7 日（金）
表彰式会場：2 1 0 教室

山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

令和 6 年度 学生表彰式

令和 7 年 2 月 7 日（金） 1 0 時 3 0 分
於 2 号館 2 1 0 教室

1 . 開式 (1 0 時 3 0 分)

1 . 学長挨拶 (1 0 時 3 0 分)

【課外活動等】功労賞（学長より授与）
団体 第 2 9 回竜王祭実行委員会

【課外活動等】奨励賞（学長より授与）
団体 教育研究サークル
ゲーマーズボランティア
自動車部（SOCU学生フォーミュラチーム）
狩猟部
フィルハーモニー交響楽団
山理科LABO
Biofizz
個人 電気工学科 4 年 小川 大稀
電気工学科 4 年 野村 太一

1 . 学生部長挨拶 (1 0 時 4 5 分)

【課外活動等】感謝状（学生部長より授与）
個人 応用化学科 3 年 中竹 和樹
数理情報科学科 2 年 横手 陽大
薬学科 5 年 梶本 莉世
薬学科 5 年 田苗 悠華里
薬学科 2 年 荻野 綾子
薬学科 2 年 平田 智也
薬学科 1 年 高原 大翔

1 . 受賞者挨拶 (1 0 時 5 5 分)

団体 狩猟部 3 年 河合 拓海

1 . 記念撮影 (1 1 時 0 0 分)

※敬称略

【課外活動等】

功労賞

○第29回竜王祭実行委員会

「彩（いろどり）」をスローガンに本格的な学園祭を2日間開催。また、山陽小野田市が開催する「オレンジフェスタ」や西日本自動車学校のイベントに参加、レノファ山口のホーム戦で学園祭のチラシ配布を行うことで地域の方との交流の場が増え、大学を知っていただく機会にもなった。

奨励賞

○教育研究サークル

山陽小野田市内の小中学校において「スクールボランティア」活動に取り組み、中学校へは放課後や定期テスト前において、個別の学習支援に従事する等、社会活動を行った。

○ゲーマーズボランティア

市内5つの地域交流センターから依頼がありeスポーツ体験教室を2024年度は5回開催し、地域において減少しつつある世代内・世代間交流の機会を生み出す等、社会活動を行った。

○自動車部（SOCU学生フォーミュラチーム）

継続的に住吉祭り、西日本自動車学校及び第11回図書館フェスティバル等に参加し社会活動を行った。

○狩猟部

捕獲したイノシシ肉をジビエ料理にしてイベント等で提供した。また、害獣被害と対策の広報活動も行い、地元新聞に掲載及びtysテレビ山口mixに放映された。狩猟部は害獣被害の軽減に貢献しており、地域の安全・安心に寄与した。

○フィルハーモニー交響楽団

Aスクエアオープニングフェスタ、スマイルハロウィンさんようおのだ2024、第11回図書館フェスティバル等に参加しステージ演奏を行った。また、9月29日開催の小野田吹奏楽団第21回演奏会出演に向け、小野田吹奏楽団との合同練習を行い、世代を超えた市民との交流も図った。

○山理科LABO

レノファ山口のホーム戦のブース出展や厚狭図書館及び第11回図書館フェスティバル等でスライム&人工イクラづくり教室を開催し、社会活動を行った。

○Biofizz

こども食堂運営に主体的に参加及び様々な市民イベント等を主導しており、その活動が山陽小野田市の広報誌へ掲載やFMラジオにも出演へ繋がり、社会活動を行った。

○電気工学科 4年 小川 大稀

第三種電気主任技術者試験は理論、機械、電力、法規の4科目全てに合格が必要で、合格率は10～20%程度、約1,000時間ほどの学習時間を要すると言われるような難易度の高い国家資格である。本学在学中の合格はおそらく初であり、電験サークルに所属し、独学で習得及び試験に挑戦し合格という優秀な成績を収めた。

○電気工学科 4年 野村 太一

同上

感謝状

○応用化学科 3年 中竹 和樹

昨年度提案したロゲイニング開催を実現するため、山陽小野田市役所をはじめとする様々な方との調整を行い、開催へ繋げた。ロゲイニングでは、交通機関の利用促進や多世代での交流機会の場を設けるといった社会活動を行った。

○数理情報科学科 2年 横手 陽大

昨年度提案したプログラミング体験教室実現のため、須恵地域交流センター、須恵小学校運営協議会主催「夏休み寺小屋教室」の一部として開催し、小学校でも使われることもあるScratchを用いてプログラミングを体験教室を行う社会活動を行った。

○薬学科 5年 梶本 莉世

学生通訳としてモートンベイ市関係者対応等を行い、山陽小野田市広報誌へ掲載及びFMラジオへ出演することで地域貢献活動の周知に貢献した。

○薬学科 5年 田苗 悠華里
同上

○薬学科 2年 荻野 綾子

Aスクエアを活用した学生による高齢者支援の提案、松原分校でのボランティアなどの学生による地域貢献活動を第23回やまぐち教育の日・第51回山口県教育県民大会厚狭地区大会で報告し、社会活動を行った。

○薬学科 2年 平田 智也

昨年度提案した学生寮まつり開催に向け、共催者である小野田商工会議所青年部とともに、地域を活性化し、地域の方たちと学生が交流する機会を生み出し、社会活動を行った。

○薬学科 1年 高原 大翔

5月23日12時40分頃、通学途中に倒れている男性を見つけ声掛けを行い、意識はあったが救急車を要請した。通りがかった男性と一緒に救急車が到着するまで倒れている男性に声を掛け続け、意識がある状態で搬送された。その後、一緒に救命活動をした男性から大学へ当該学生を褒めたたえる言葉をいただいた。